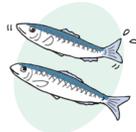


### 北海道経済を支えたにしん漁

現在では、幻の魚と呼ばれるほど漁獲量が減少したにしん漁も、かつては北海道の経済に影響を与えるほどの勢いがありました。北海道の民謡で有名な「ソーラン節」は、にしん漁の際に沖で歌われたもので、力強く、威勢良く歌うのが特徴です。

さて、にしんの語源は、身を二つに裂いて食用にすることから「二身」とする説や、アイヌ語の「ヌーシィ」が変化するという説などがあります。



小平町は、北海道の北西部、留萌支庁管内の南部に位置し、雄大な日本海と緑豊かな自然に抱かれたまちです。恵まれた自然環境と美しい四季の移り変わりの中で、いきいきとした暮らしが営まれています。

主な産業は、自然環境を活かした農業と漁業です。お米をはじめトウモロコシやメロンなど北海道を代表する産品が豊富です。

漁業では、昨年「タコ箱オーナー制度」を実施し、マスコミ各社が全国区で報道し、大盛況のうちに幕を閉じたところです。

また、観光においては、にしん漁で栄えた時代を今に伝える日本最北端国指定重要文化財「旧花田家番屋」をはじめ、カヌー、ヨットなどの海洋性スポーツを顕著していきます。

### 観・食・遊

#### 北海道小平町からのメッセージ



小平町は、日本海と山に囲まれた、自然が豊かなまちです。

小平(おびら)町の町名の由来は、アイヌ語の「オ・ビラ・ウシ・ベツ」が転化したもので、「川口に崖のあるところ」という意味です。まちの木はイチイで、まちの花は小平市と同じツツジです。

#### 北海道小平町

ば打ち、刺し網漁など各種体験研修メニューをそろえた団体宿泊可能な都市農村交流施設「ゆゆうそう」も好評です。

ぜひ、北海道小平町にご来町いただき、当町の魅力に触れていただくと幸いです。皆さんに楽しんでいただけるよう、これからも観・食・遊の3要素の充実を図っていきます。

### 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

小平市民の皆様におかれましては、「ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。昨年につきましては、少年少女交歓交流事業や小平市民まつり、小平町産業まつりなどを通して皆様方と親しく交流させていただいており、あらためてお礼と感謝を申し上げます。

一年を振り返りますと、道内の経済情勢は横ばいとなりまだまだ厳しい状況が続いている中、財政基盤の弱い地方自治体は地方分権や今後の高齢化の進展などに伴い、果たす役割はますます大きくなっていくものと考えております。当町においても、地域の実情に応じた自主的な行財政運営を図るため、改革に取り組んでいるところであります。

このような中、長引く好天に一時水不足となり農作物への影響も心配されましたが、畑作物を除いては、各産業において順調な生産でありましたことに安堵しております。

今年も、同名というよしみにより「ふれあいのまち小平」と姉妹都市締結を交わして以来、30年の節目の年となります。この節目に、皆様方と重ねてきた幅広い交流は、お互いの掛けがえのない財産であり、今後とも両町との友好関係を永く続けていきたいものと思っております。

年頭にあたり、小平市のますますのご発展と、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとします。



姉妹都市 北海道小平町長 横濱 磨

# 小平市・北海道小平町 姉妹都市30周年

昭和53年7月1日、小平市と北海道小平町(おびらちょう)は同名の自治体のよしみから、教育・文化・産業などでの交流と友好を深めることやお互いの発展を祈願して、姉妹都市として提携を結びました。

昭和53年7月20日号の市報で

## 姉妹都市提携をお知らせしました

小平町開基百年の記念式典と町役場庁舎の落成式と合せて、姉妹都市締結式が小平町「留萌青年の家」で盛大に行われた様子が、当時の市報こだいら(右図参照)で紹介されています。

姉妹都市提携記念式典後に、小平市でも祝賀式を開き、市・町章と木(小平市からは「ケヤキ」、小平町からは「イチイ」)の交換が行われました。

小平町の花「ツツジ」

小平町の木「イチイ」

### 姉妹都市 交流の樹の植樹

平成18年10月15日(日)の小平市民まつりの当日、小平ふるさと村(かきの木公園)で小平市と小平町により「姉妹都市交流の樹 植樹式」を行いました。

両市町民の友好と発展を願って植えられた柿の木は、ふるさと村(かきの木公園)でご覧いただけます。

友好と発展の実を結ぶことが期待される柿の



### 重要文化財 旧花田家番屋 イベント

明治時代から大正時代にかけて、小平町鬼鹿の海岸にしん漁が全盛でし、その中でも、道内屈指にしん漁を営んでいた花田家が明治38年ごろに建築した番屋(にしん漁家特有の平面構造)です。番屋としては、現存する中で道内最大の規模を誇り、北海道遺産にも指定されています。

5月下旬には、旧花田家前広場で「鱒番屋まつり」を開催し、番屋無料開放や特産物の直売、にしん漁に関連する各種ゲーム大会などが行われています。また、三平汁の無料配布などもあり、人気を集めています。

6月中旬には、鬼鹿天心寺の藤庭園で「藤まつり」が開催され、樹齢100年あまりの百畳敷きと言われる一本藤を楽しむことができます。

6月最終の土曜日から日曜にかけて、インカルウシユへの丘(望洋台キヤンプ場)で「野焼きの集い」が行われます。焼



### 四日間の思い出

小平町立小平小学校五年 齊藤 芹奈

人で行くのがつづかれました。海洋スポーツが終って着替へに行くとき川の中に鳥がいてすごびっくりしました。すごたのしかったです。

最後の五つ目は小平市のみんなと友だちになったことです。みんなの名前をおぼえるのは大変でした。とくに仲良くできたのは、家に泊まりにきたはるかちゃんです。はじめて会った時から仲良くなりました。いろいろ話をしたりいっしょにカレーを作ったり、ごはんを食べたりしました。はるかちゃんともたいつかえたら、たのしい思い出を作りたいと思います。

小平市のみんなとすごした四日間はぜったいに忘れません。来年は私たちが小平市に行きます。来年もみんなとたのしい思い出を作りたいと思います。

五つ目はみんなで海洋スポーツ体験をしたことです。私はD班でした。D班は最初にヨットに乗りました。次にカヌーやいろいろな物に乗りました。その中で一番たのしかったのはカヌーです。カヌーは一人で乗るので大変でした。とくに、一



### 北海道小平町での思い出

## 少年少女交歓交流

小平市と北海道小平町では相互の交流の場として、少年少女交歓交流事業を行っています。夏休みを利用して、小平市と小平町を1年置きで訪問しています。昨年は小平市の子どもたちが小平町を訪問しました。

小平町での、夏休みの楽しかった思い出をご紹介します。

#### 夏休み一番の思い出

小平市立小平第十四小学校六年 菅野 照生

回乗って合計五回くらい海に落とされて楽しかったです。家庭泊のときは、バーベキューで牛肉や豚肉だけでなくウニ、タコ、ホタテなどの海産物もいっぱい出て、ごちそうになりました。次の日、小平町の友達と別れるのは、とてもさびしかったです。今年もかえてくれた小平町のみんなが来年の事業に参加してほしいと思っています。午後のラフティング体験では、岩場からの飛び込みが楽しかったです。みんなの息が合ったときはズンズンとポートが進んでいたのすごいなと思いました。

最終日の旭山動物園は、北国の動物がたくさんいて、さすが北海道の動物園だなと思いました。

四泊五日はけっこう長いと思ったけれど、一日一日が楽しかったので、過ぎるのがとても早く感じられました。北海道はとても涼しくて夜は寒かったくらいなので、いい気候だなと思いました。小平町では初めての発見などがたくさんありました。四泊五日という短い間だったけれど、どの日もとてもいい日でした。来年、小平町のみんなに小平市を案内して、ディズニーランドがディズニーシーと一緒に遊びたいです。

ぼくが今年の事業で一番楽しみにしていたのは、海洋スポーツでした。海洋スポーツのカヌーは今までやったことがなかったし、自分の力だけでポートを漕いでみたかったからです。

一日目までぼくは小平町の人々と友達になれるかなと心配していました。しかし、小平町の文化交流センターで遊んでいるうちに仲良くなりました。

二日目の化石発掘では、化石はめったに採れないと思っていたけれど川の横に来たときに石の中に貝が二〜三個埋まっていたのでびっくりしました。これまで化石を掘ったことがなかったので早速化石を掘りました。最初の一個を掘り出したときはとてもうれしかったです。石はハンマーと鉄くぎではくずれないと思ったけれど、簡単にくずせたのすご威力だなと思いました。

二シシ番屋はとても広くて、漁師さんが一日にお米を七合食べていたことにびっくりしました。

三日目はいよいよ海洋スポーツ。カヌーは思っていたよりも楽しくて、スイスイ進むのが夢中になりました。小平町の友達の肌が黒いので、なんで?と聞いてみたら、カヌーの練習をしていたので黒くなったと言っていました。バナナポートは、二

### いっしょにすごした楽しい思い出



実施年	交流事業	開催月
昭和53年度~	姉妹都市交流町民ツアー(小平市民まつりに合せて小平町民が来訪、平成15年度で終了)	10月
昭和54年度~	小平市民まつり(小平町の特産物を販売)	
昭和55年度~	少年少女交歓交流(1年置きに、小平市と小平町を交互に訪問)	8月
昭和56年度~	小平市民ツアー(小平市民が小平町を来訪、平成11年度で終了)	
昭和60年度~	小平町産業まつり(小平町の特産物を販売)	11月
平成11年度~	ふれあいの森林事業(小平町の国有林で植林を行う)	-
平成12年度~	小平町産ほしのゆめ(米)を販売	9月
平成13年度~	経済交流ツアー(小平商工会やJA東京むさしが中心となり小平町を来訪する、平成14年度で終了)	8月
平成14年度~	JA東京むさし小平経済センター直売会主催の歳末大市(小平町の特産物の販売は平成18年度まで)	12月
平成18年度	姉妹都市交流の樹を植樹(小平ふるさと村・かきの木公園に柿の木を植樹)	10月
平成19年度	小平市観光農業協会主催の冬の歳末市(小平町の特産物を販売)	12月

## 小平市・北海道小平町 交流の歩み

